

大守 秀行

市議会だより

2026年7月吉日 No.47

発行責任者：大守秀行

〒710-8550 倉敷市玉島乙島7471番地

TEL: (086) 525-2226

自宅: 倉敷市中島1835-20



日頃より市政へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。令和 6 年 6 月議会の一般質問から、暮らしに関わる 3 つのテーマと 6 月補正予算について課題・市の対応・私の視点を分かりやすくまとめましたので、ご一読いただけますと幸いです。

1. カスタマーハラスメント対策

市民生活への関わり: 職員が安心して働ける環境を整えることは、公平で安定した行政サービスを守ることにつながります。

2026 年 10 月の法改正を見据え、職場におけるカスタマーハラスメント対策の整備が求められています。市では実態調査を踏まえ、組織としての対応方針の明確化、マニュアル整備、職員研修などを計画的に進める方針です。

論点	課題・質問の要点	市の答弁・対応
基本方針と推進体制	職員を守る基本姿勢を明確にし、法施行に向けた周知や準備をどのように進めるのか。	組織として毅然と対応する方針をマニュアルに記載します。また、所属長向けの研修や全職員向けのオンライン研修を実施し、組織的対応を定着させます。
実態把握	職員へのアンケート調査で何が判明し、どこに課題があるのか。	約6,600人を対象に調査し、約1,900人から回答がありました。窓口や電話での暴言・威圧・執拗な要求が確認され、マニュアルや支援体制の整備を求める声が多く寄せられました。
重点対応の場面	特にどの場面や部署で対策を急ぐべきか。	窓口での対面対応と電話対応での発生が多いことから、市民対応や相談業務が多い部署を「重点対策部署」と位置づけます。
判断基準の整備	正当なご意見・ご要望と、行き過ぎた迷惑行為の線引きをどう行うのか。	国の指針を踏まえ、「社会通念上許容される範囲」を基準として整理し、現場で迷わないようマニュアルに判断基準を定めます。
記録・共有と支援	事案をどのように記録し、被害を受けた職員をどう支えていくのか。	一定の様式で事案を記録し、職員間で共有する仕組みを検討します。また、警察出向者や弁護士と連携し、健康相談を通じて心理的・勤務面での支援を行います。
ハード面整備と今後	通話の録音機能などの整備はどうか。今後のスケジュールは。	録音機器などは他自治体の事例も踏まえ、費用や運用面を整理して検討します。2026年10月の義務化に向け、判断基準の策定、マニュアル作成、研修などを順次進めます。

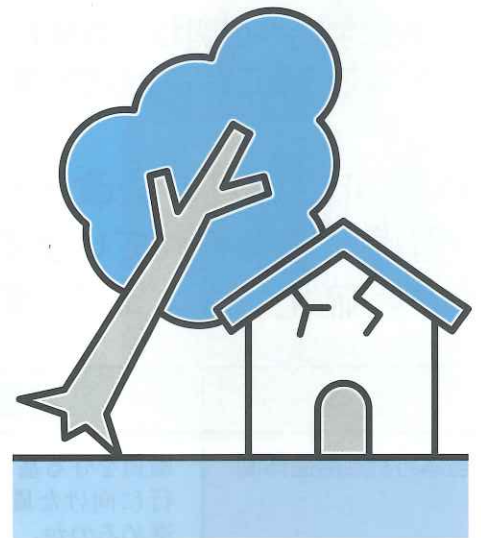
- 理不尽な要求で現場が疲弊すれば、市民サービスの質そのものが損なわれます。私はここを大きな問題だと考えています。
- 今必要なのは、正当な意見と迷惑行為の線引きを明確にし、職員が一人で抱え込まない体制を早く整えることです。
- 今後は、研修や相談支援、録音機器を含む対策が実際に機能するのかを注視し、実効性ある仕組みへと市政を動かしてまいります。

2.公園樹木の安全管理と持続可能な公園づくり

(翌日の山陽新聞朝刊全県版に記事として掲載されました)

市民生活への関わり:公園の安全確保は、市民の命と安心に直結します。景観を守りながら安全性を高めることが求められています。

福田公園での倒木事故を受け、市内公園の安全点検のあり方や、老朽化が進む樹木の更新方針が問われました。利用者の安全を守りながら、景観や公園の価値をどう次世代へつないでいくかが大きな論点です。



論点	課題・質問の要点	市の答弁・対応
福田公園の事故への対応	倒木事故の原因をどう受け止め、今後の再発防止をどのように進めるのか。	原因は樹木の根の張りの偏りと強風によるものです。現在、指定管理者や地元管理組合と協力して園内の樹木を一斉点検しており、危険な樹木は順次伐採します。
市内公園の安全対策	他の公園でも同様の事故を防ぐために、市として何が必要と考えているか。	「危険な樹木の見分け方」をまとめたパンフレットを作成・配布し、点検の精度を高めます。枯れた木は速やかに伐採し、倒木のおそれがある木は専門家の意見も踏まえながら、緊急度の高い順に伐採や植え替えを進めます。
連携体制と初動対応	異常が発見された際に、迅速な安全確保(初動対応)ができる体制になっているか。	異常時は指定管理者が速やかに市へ報告し、協議の上で通行止めなどの応急対応を行っています。さらに、リアルタイムで情報共有できるアプリの活用も検討し、連絡体制を強化します。
酒津公園の桜の更新	老木化が進む桜について、安全の確保と名所としての景観継承をどう両立するのか。	開設から75年が経過し老木化が進んでいるため、危険な桜は伐採等で安全対策を行います。一方、令和元年度から毎年、市民参加の植樹イベントを開催しており、安全と景観の両立を図りながら更新を続けています。

倉敷市議会議員 大守秀行の視点

- 公園の事故は、起きてからでは遅く、市民の命と安心に直結する問題です。安全管理の甘さを見過ぎてはなりません。
- 今求められるのは、危険木の把握、点検の精度向上、初動対応の迅速化を一体で進めることです。同時に、景観や公園の価値をどう守るかも重要です。
- 今後は、点検体制と情報共有が現場で機能しているかを注視し、再発防止と持続可能な公園づくりを前に進めてまいります。

3.ネーミングライツ(命名権)制度の推進

市民生活への関わり:新たな財源を確保し、市民サービスの充実につなげるための仕組みとして注目されます。

新たな財源確保や地域活性化、官民連携の推進を目的とするネーミングライツ制度について、対象の広げ方や、企業と市民の双方にとって納得感のある制度にするための運用方針が議論されました。

論点	課題・質問の要点	市の答弁・対応
対象施設・事業の拡大	現在対象となっているスポーツ施設にとどまらず、今後どのように対象を広げていくのか。	今回の募集結果を検証したうえで対象施設を拡大します。また、市が主催するイベントや講座などの「ソフト事業」も、価値向上につながるものであれば対象として検討します。あわせて、認知度の高さ、企業の参画見込み、市民の理解を重視して進めます。
制度の魅力向上	企業にとって参画する魅力があり、市民にも親しまれる制度にするためには何が必要か。	SNSや施設の案内板、予約システムなどで愛称を積極的に使い、企業名の認知度を高めます。また、企業の地域貢献活動を市のホームページ等で広く紹介し、市民の皆様の納得感や親しみやすさにつなげます。
検証と中長期的方針	単発の取り組みで終わらず、募集後の検証をどう行い、市の施策としてどう位置づけるのか。	応募状況や市民・企業の評価を総合的に検証し、募集条件や対象施設の見直しにつなげます。今後も本市の「官民連携推進施策」の一つとして、中長期的に活用していく方針です。

倉敷市議会議員 大守秀行の視点

- ネーミングライツは、単なる財源確保で終われば意味がありません。地域企業の力を市民サービスの向上につなげてこそ価値があると考えます。
- そのためには、市民の理解が得られる運用か、企業にとって魅力があるかを丁寧に見極めながら制度を育てることが必要です。
- 今後は、募集結果や市民・企業の評価をしつかり検証し、倉敷らしい官民連携の仕組みとして定着するよう市政を動かしてまいります。

4. 6月補正予算の概要

市民生活への関わり:補正予算は、地域経済、医療、教育、道路整備など、市民生活に身近な課題へ対応する予算です。

今回の6月補正予算案は、当初予算編成後の状況変化に対応するためのものです。中小企業支援、観光振興、医療、教育など、幅広い分野の課題に対応します。

主な内容

- 地域経済・産業支援:資材調達の遅れで影響を受けた中小企業等に対し、融資の利子や保証料を補給します。あわせて、アニメを中心としたデジタルコンテンツ人材の育成を進めます。
- 交流・観光振興:「2027国際美術史学会コロキウム倉敷」を見据え、瀬戸内エリアの他都市と連携した周遊プログラムをつくり、MICE誘致を進めます。
- 暮らし・福祉・医療:交流イベントの実施、75歳以上の方への高用量インフルエンザワクチンの選択枝追加、医療費助成の資格確認システム改修を行います。
- 教育・子育て・地域環境:地域クラブ活動の支援、倉敷ふれあい教室玉島教室の移転、保育・母子支援施設の整備助成、道路整備などを進めます。
- そのほか:緑越明許費を計上するとともに、良寛荘と鷺羽山レストハウスの管理、運営事業者を公募するための債務負担行為を設定します。



予算規模

区分	課題・質問の要点	市の答弁・対応
一般会計	390,814千円 (3億9,000万円余の増額)	223,158,780千円 前年度同期比 103.6%
全会計合計	90,814千円	448,423,946千円 前年度同期比 104.7%

財源は、国・県支出金や市債のほか、財政調整基金で調整します。今回の補正は、当面の課題への対応と将来への備えの両面を支える内容です。



22
大守
秀行

市民の皆様からのご意見やご相談を受け付けています。
お気軽にお声かけやお電話・ホームページ・
facebook・LINEなどにて
ご連絡いただければ幸いです。



ホームページはこちら▶